

# すまいる

古川市民センターだより

発行 青森市古川市民センター  
〒030-0862 青森市古川 3-7-14  
TEL 017-776-8082  
FAX 017-773-9551



## 講座レポート

## 住んでみたい街-その1- (7/2)

7月2日に古川市民センターで「住んでみたい街-その1-」の講座を開催しました。講師は、青森大学社会学教授の佐々木淳一さんです。都市形成に影響を与える風土や文化、繁栄する都市と衰退する都市の違いなどの考察を通して、我が郷土青森市に住みたい街にするにはどうしたらよいかを考える2回講座の1回目で、2回目は、10月8日に開催します。

現在、国内で一番勢いがある街として福岡市が紹介され、福岡市に根付く「オープンマインド（よそ者を拒まない）」という風土」をその理由にあげられました。逆に、限界自治体と呼ばれる「夕張市」は、1960年は10万人いた人口は現在7000人。炭鉱閉山に代わる主力産業を観光産業へ移行しようと、ホテル、ゴルフ場、スキー場などの建設をし、それがすべて失敗しました。

青森県三市については、青森市は、第三次産業が8割を占め、「ねぶた祭り」の経済波及効果497億円。弘前市は、弘前藩の城下町という観光資源を最大限に活用した行政。八戸市は、国内有数の物流拠点都市として繁栄し、第一次、二次、三次産業のバランスがよいことが特徴と説明されました。

『小さなムーブメントが「街」を救う』として、「AOMORU春フェスティバル」では、新町通りに85,000人の集客があり、「アイデアを絞って何かを起こさなければならない。」との講義でした。



## 市民センターから

## 市民センターの環境整備 ～環境部活動報告

3年前に環境部を作り花壇の手入れをしてきましたが、その他、桜やさわらの木などなどの樹木は手つかずのままです。そこで、館長率いる外回り隊により、とてもきれいな中庭になりました。まだまだ手をかけなければいけませんが、館長が日々草取りなどなど、頑張っています。正面駐車場脇にあるベンチの中には、黄色・ピンク・白などのコスモスを植え、行きかう人の目を楽しませています。

事務室前のプランターには、風が吹くと折れてしまいそうなミニヒマワリが背比べしているかの様に愛らしく頑張っています。日差しの強い図書室窓には緑のカーテンにと朝顔を植えたのですが、大きくなあれ、大きくなあれと思い肥料をあげすぎたため、花がつかず立派な葉っぱが育ち強い日差しを和らげてくれています。古川市民センターをご利用の際には、門から見える風景にも気をとめて頂けると幸いです。



## 自分の家の水は、 どこでつくられた水？ (8/23)

古川市民センターでは、8月23日に青森市水道部横内浄水課の職員の方を講師に、「自分の家の水は、どこでつくられた水？」という講座を開催しました。青森市の水道水は「日本一おいしい水」だということをご存じでしょうか。これは昭和59年、厚生省の「おいしい水研究会」が全国の都市12地区の水道水を集めて利き水会を開催し、青森市の横内浄水場の水道水が評価されたものです。また、全国各地30箇所の水道水を科学的に分析した結果においても、青森市の水道水は「特においしい水」とのお墨付きをもらっています。青森市の水道は明治42年12月に全国13番目に通水を開始しました。県内では初めての近代化水道です。

旧市内の水道水の供給は、「横内系、堤川系、原別系、天田内系」に分かれていて、横内浄水場は横内川、堤川浄水場は下湯ダムの放流水、原別配水所は井戸、天田内配水所は井戸を水源とし、取水した水は、ろ過やPH調整、塩素注入などを経て、家庭へと配水されていきます。川から取水した水が家庭に届くまではおよそ2~3日かかり、市内の水道水は横内上水場にある中央制御室で集中監視されています。青森市では、「1.安定した給水の確保、2.良質でおいしい水の供給、3.災害に強い水道の構築」に今後とも取り組んでいくということでした。



横内浄水場の沈殿池



## お勧め講座・イベントのご案内！ (10~11月)

### 住んでみたい街-その2-

開催日：10月8日（土）  
10：00～12：00  
講 師：青森大学副学長兼社会学部  
教授 佐々木 淳一  
会 場：3階 会議室  
定 員：20人  
参加費：無料  
準備物：筆記用具  
※だいじょうぶか青森市！生き残れる青森市を考えよう！！



### ほんとは知らない市役所の仕事

開催日：10月24日（月）  
10：00～12：00  
講 師：青森市役所人事課  
会 場：3階 会議室  
定 員：20人  
参加費：無料  
準備物：筆記用具  
※身近な問題から将来の課題まで！  
This is 市役所！



### 編集後記

市民センターご利用の際には、人と人との距離の確保、マスクの着用、手洗い・手指消毒をお願いしています。ご理解とご協力をお願いいたします。当館においても、館内の消毒を行うなど感染対策を徹底し、安全・安心の確保に配慮しながら皆様の学習活動の推進に今後も取り組んでまいります。

### 〈取材・編集〉

青森市中央市民センター1F  
青森市生涯学習推進員室  
TEL 017-734-0164（内線36）  
古川市民センター担当：田中、奈良原